

印西市・白井市と共に全国初の「ランドスケープ・マネジメント・センター（LMC）」を設立 産学官民連携によりグリーンインフラの地域実装を推進

北総ランドスケープ・マネジメント・センター

ネイチャーポジティブやグリーンインフラへの関心が高まる中、自然環境を地域の防災、まちづくり、脱炭素、生物多様性保全に活かすための産学官民連携プラットフォーム「ランドスケープ・マネジメント・センター（LMC）」が、全国に先駆けて千葉県印西市・白井市が参画のもと設立されました。

今回設立された「北総ランドスケープ・マネジメント・センター」は、印西市・白井市の参画のもと、建設、保険、エネルギーなど多様な分野の企業、研究者、市民団体等が連携し、科学的エビデンスに基づくグリーンインフラの地域実装を進める組織です。内閣府 SIP 第3期「スマートインフラマネジメントシステムの構築（e-1 魅力的な国土・都市・地域づくりを評価するグリーンインフラに関する省庁連携基盤）」や国立環境研究所等の研究者も協力し、地域課題の解決と自然資本の価値向上を両立する取組みを推進します。

今後は、流域スケールで整備されたデータを活用し、土地開発と自然環境の両立に向けた協力、水害対策や地下水涵養に資する「雨庭」の設置、防災や水質浄化に効果が期待される「耕作放棄地の湿地化」、脱炭素と生態系回復につながる「竹林整備とバイオ炭づくり」などの活動を推進・支援するとともに、地域認証制度やネイチャークレジットの導入についても検討していきます。

1. 企業のネイチャーポジティブへの関心を、地域課題解決につなげる

近年、多くの企業が生物多様性の保全や自然関連のリスク管理への関心を高めています。しかし、自然環境に関する取組みは、脱炭素の取組みとは対照的に、「どの場所で、何をしたら、地域と企業の双方に意義のある活動になるのか」が見えにくいのが実状です。同時に、多くの地域において、都市域での計画的な緑地整備、遊休農地や樹林の管理、地下水資源保全など、自然環境に関する課題が増加しています。

LMC は、こうした企業と地域のニーズをつなぎ、自然を社会基盤として活かす「グリーンインフラ」を地域で実装するための連携組織です。内閣府 SIP「スマートインフラマネジメントシステムの構築」テーマ e-1「魅力的な国土・都市・地域づくりを評価するグリーンインフラに関する省庁連携基盤」において構想され、北総ランドスケープ・マネジメント・センター（LMC 北総）はその第一号として設立されます。

2. 科学的知見に基づき、効果的なグリーンインフラの実装を進める

LMC 北総の特徴は、科学的知見と地域の実践を結びつける点にあります。内閣府 SIP の関係研究者らによる研究・実証の成果も活かしながら、地域における具体的な取組みの企画・調整を進めます。

地域の自然や土地利用に関するデータ、現場の知見を踏まえ、どこでどのような取組みを優先すべきかを見極めることで、効果的なネイチャーポジティブの実践につなげます。また、取組みの根拠や効果を明確にすることで、企業の環境貢献を適切に可視化し、信頼性の高い情報開示を支援します。

3. 印西市・白井市との広域連携により、地域全体で自然環境を活かす

自然環境の保全・活用には、自治体の境界を越えた広域での計画や活動が有効です。LMC 北総は、印西市と白井市の双方が参画していることにも、大きな意義があります。

隣接する印西市と白井市は、千葉ニュータウン等の居住地と豊かな里山の両方を擁するなど、共通点が多く存在します。両市は 2025 年 10 月にまちづくりに関する連携協定を締結しており、LMC 北総への参画はこの協定を踏まえたものになります。

4. 予定している活動

LMC 北総では、地形・地下水、生物分布、土地利用などのデータを活用し、自治体や企業・市民団体によるグリーンインフラの実装を支援します。現時点では、以下のような取組支援を予定しています。

- ・土地開発と自然環境の両立に向けた協力
- ・水害対策や地下水涵養に資する「雨庭」の設置
- ・防災や水質浄化に効果が期待される「耕作放棄地の湿地化」
- ・脱炭素と生態系回復につながる「竹林整備とバイオ炭づくり」
- ・地域認証制度やネイチャークレジットの導入検討
- ・企業活動の環境影響・環境貢献の定量化と情報開示支援

5. 設立記念イベントについて

7 月 18 日には配信型設立記念イベントを予定しています。

詳しくは、設立記念イベントの案内ページをご覧ください。

設立記念イベント案内ページ：<https://www.lmc-hokuso.info/post/eventinformation>

6. 本取組に賛同する企業・団体・個人

LMC 北総は、行政に加え、趣旨に賛同する企業、団体、研究者、市民等が、それぞれの関心や立場に応じて参加できる開かれた連携基盤です。多様な主体が関わりやすい形を整えながら、地域の自然を活かす取組みを広げていきます。

現時点で、LMC 北総の設立趣旨に賛同し、本取組に会員やアドバイザーとして参画する企業・団体・研究機関は以下のとおりです（50 音順）。下記ウェブページでは、新規会員の募集も開始しています。

【地方自治体】

千葉県印西市、千葉県白井市



【企業】

MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社、MS&AD インターリスク総研株式会社、株式会社国際社会経済研究所、清水建設株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、中央復建コンサルタンツ株式会社、東京ガス株式会社千葉支社、株式会社みずほフィナンシャルグループ

MS&ADホールディングス

MS&AD INSURANCE GROUP

MS&AD

MS&ADインターリスク総研

I I S E



中央復建コンサルタンツ株式会社



【団体】

グリーンインフラ市民学会

公益財団法人世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン)

【研究機関】

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第3期スマートインフラマネジメントシステムの構築
e-1「魅力的な国土・都市・地域づくりを評価するグリーンインフラに関する省庁連携基盤」、国立環境研究所、産業技術総合研究所



7. ウェブページ

LMC 北総ホームページ： <https://www.lmc-hokuso.info/>

8. 問合せ先

北総ランドスケープ・マネジメント・センター

センター長：大坂真希 E-mail：lmc.since2026@gmail.com